



京浜港湾事務所

工事名 **横浜港新本牧地区護岸(防波)南側海上地盤改良工事**
横浜港新本牧地区護岸(防波)東側海上地盤改良工事

工事内容 横浜港新本牧地区護岸(防波)の整備に向けて、海底地盤を改良します。

●工事区分 護岸(防波)の地盤改良工事は、下記の2件に分けて進めます。

	工事名	工期	施工会社
南側	横浜港新本牧地区護岸(防波)南側海上地盤改良工事	R2.7.7 ~ R4.3.28	東亜・本間・不動テトラ 特定建設工事共同企業体
	新本牧ふ頭の南側の護岸を担当。サンドコンパクションパイル約10,500本を施工します。		
東側	横浜港新本牧地区護岸(防波)東側海上地盤改良工事	R2.7.1 ~ R3.12.24	五洋・みらい 特定建設工事共同企業体
	新本牧ふ頭の東側の護岸を担当。サンドコンパクションパイル約7,000本を施工します。		

●工事の流れ 本工事は、下記のような流れで進めていきます。

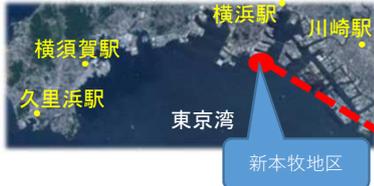


締固工(サンドコンパクションパイル)施工の様子(令和3年5月)



横浜港国際海上コンテナターミナル再編整備事業

▽新本牧ふ頭位置図



▽(新本牧ふ頭)施工位置図



▽工程表

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
岸壁(水深18m)								
護岸(防波)								
防波堤								
荷さばき地								
道路								

本工事

京浜港湾事務所

施工状況

準備工

敷砂工

締固工

調査工

【遠隔臨場の取り組みについて】

従来は材料確認や出来形確認は現場での立会により監督を実施していますが、ウェアラブルカメラを活用しリモートでの現場監督(遠隔臨場)を実施する取り組みを行っています。



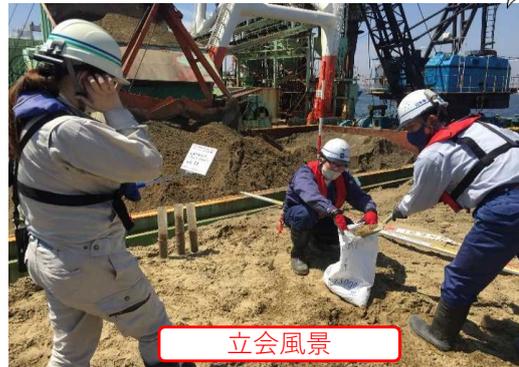
工事現場



ヘルメットに装着するので両手がフリーになり安全！！



ウェアラブルカメラ装着



立会風景

事務所



遠隔臨場実施状況

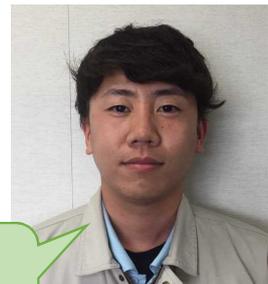


担当技術者紹介



東亜・本間・不動テトラJV
横山さん

主任技術者の横山です。
気象・海象状況を把握し、厳格な施工管理を行っています。
安全考動を徹底し、無事故・無災害で竣工を目指します。



五洋・みらいJV
清家さん

現場担当の清家です。
日々、安全第一で品質の良いモノを完成させるべく、現場の施工管理を行っています。